

2021 年 8 月 19 日

四日市コンビナート協力会社災害防止協議会等連絡協議会
8 月 幹事会議事録

四日市コンビナート協力会社
災害防止協議会等連絡協議会



開催日時 令和 3 年 8 月 19 日 10 : 00～
場 所 三浜文化会館 会議室
出席者 会 長 岩野
副会長 原岡
幹 事 萩野、佐藤、山内、山本、
監督署 水谷安全衛生課長
事務局 伴野 、 オブザーバー 服部

議 事

1. 事業報告 (令和 3 年 6 月以降)

6 月 22 日 (火) 2021 年度総会 書面表決により全議案可決
6 月 18 日 (金) ～ 事故事例集 (第 40 週) 関係先に配布
7 月 30 日 (金) 安全管理講習会 (KYT) 受講 20 名
8 月 5 日 (木) 第 1 回教育部会

2. 特別研修講演会について

特別研修講演会について協議し、以下を決定した。

① 定員

定員は、第三ホール定員の半数以下とし 70 名以下で実施する

② 実施 (中止) の判断基準

(ア) 実施可否の判断は、9 月 30 日に行い、当日三重県に緊急事態宣言または、まん延防止等重点措置がすでに発出されている場合は、講演会は中止とする。三重県独自の【緊急警戒宣言】が発出されている場合は、幹事の意見を聴取し、会長が実施可否を決定する。

(イ) 10 月以降 11 月 9 日の当日までに、(ア) の緊急事態宣言または、まん延防止等重点措置が発出された場合には講演会は中止する。三重県独自の【緊急警戒宣言】が発出された場合は、幹事の意見を聴取し、会長が実施可否を決定する。

③ 講演会題目

題目は、労基署にテーマ選定をお願いすることになった。

連絡協議会の会員発表は、東ソー安全協議会にテーマ選定も含めてお願いすることになった。

④ 講演時間

全体で 2 時間を講演時間とする。(13 : 20 講演開始 、 15 : 25 講演終了)
労基署殿の講演時間は、1 時間 20 分程度でお願いします。

3. 優良施設見学会について

年間行事計画で予算化してあるが、現在の新型コロナウイルス感染状況を考慮し、幹事の意見を聴取の結果、11 月の優良施設見学会は中止すべきであるとの結論に至った。

4. 酸欠防止について

(1) 水谷安全衛生課長より、2020 年と 21 年に連続して酸欠死亡事故が発生しているので事故防止の所感を求められ、以下の発言があった。

(いずれも個人としての所感である)

- ✧ 死亡災害の原因が伝わってこないのが、再発防止の水平展開がしにくい。
(現在調査中であるが、おそらくルールの逸脱があったと思われる。)
- ✧ コンビナートの会社は、厳しい入槽ルールを設けている。(酸素濃度の測定記録がなければ、即入槽作業を中止させる等)
- ✧ 発注者と協力会社の信頼関係が重要であり、声かけ注意喚起も信頼関係がないと有効に機能しない。
- ✧ 2 件とも監督者の立場の方の事故であり、なぜこの立場の方がルールを守れなかったのかも解析が必要である。
- ✧ 協力会社作業員も経験の少ない方が増えてきている。入構時に 1 時間程度安全教育を行って直ぐに仕事をしているようなので、定期修理の時は、丸 1 日くらい時間を取って徹底的に安全教育を行うくらいの体制が必要ではないか。
(現実には難しいとの意見があった。)
- ✧ 作業員は、監督の指示で仕事をするが、監督の指示に疑問があっても言えないところもあり、風通しの良い職場作りも大事だと思う。
- ✧ 窒素の怖さを皆が再度認識する必要がある。作業環境を全員がよく理解して作業をすることが必要である。
- ✧ 監督であっても明らかにおかしい行動には声掛け、ブレーキをかけることも必要ではないか。

同様な酸欠事故を起こさないために、労基署も対応を考えていくのでご協力をお願いしたい。

5. 水谷安全衛生課長からのご指導

水谷課長より以下のご指導があった。

① 令和3年 労働災害発生状況（7月末現在）

- 昨年より休業4日以上の方災が30件増えている。製造業が増えて、建設業は若干減少している
- 事故の型では、転倒が多く、次いで墜落・転落、無理な動作・動作の反動、はさまれ・まきこまれの順となっている。
- 新型コロナウイルスに感染して休業の場合、企業内のクラスターでうつされて感染し休業した場合は、労働災害になり、型はその他に分類される。
-

6. その他

- 事務局より、防災協の方災報告で6月までに協力会社分が28件あり、昨年の13件から倍増している。
- 事務局安全管理教育と職長・安全衛生責任者教育の実施状況について報告があった。昨年より新型コロナウイルス対応で、各定員は18名としている。

以上